

東保野小学校では大正中ブロッグのテーマである

「居心地のよい学校」を目指すためにあいさつを大事にしていきたい
と考えました。そこで「あいさつ」とはまず何かを考えてみました。

→伝え合うことであたがいに気持ち
よく過ごすことができる言葉

代表委員会で「あいさつ」を今よりもレベルアップするための
取り組みを考えよう」という議題を以て提案をしてそれぞれのクラス
で考え、取り組んでもらいました。今回はその取り組みの一部を
紹介します。

やったこと <トークタイム>



高学年が取り組みました。クラスの中、委員会の中で今まで関わり
が少なかった友達とテーマを決めて3分間話し続けます。

テーマは「自分の好きなもの」、「あいさつとは何か?」、「日光修学旅行での
思い出」などのテーマで取り組みました。

よい所

・相手の知らなかった所を知れたり、自分のことを知ってもらったり
できてうれしかった。

・あいさつとは何かを考えて話し合いどうやってあいさつすればよいか
が分かり、これから気持ちよくあいさつをしようという前向きになれた

・同じテーマで話しても、自分と同じ所やちがう所があることに
気付いた。

感想

トークタイムをする前よりも仲が深まったりその人と
少し身近に感じるようになりました。

<ソーシャルスキル>

やったこと

3・4組さんが取り組みました。毎日かるたをします。
いろいろな分野があって、例えば「あいさつ」だったらあいさつの
かるたを先生が上の句を読んで、下の句を自分で見つけて下の句
の言葉を言いながら、そのかるたをとったら、
かるたに書いてあることが出来たかを1枚1枚ふり返をします。

よい所

・かるたのテーマについて自分が学校で気が付いたら
良いことが分かった

・かるたの札を読みながら自分で気をつけようと思えるように
なった。

感想

テーマについて深く学べたり、大切なことを覚えたり
することができ、毎日の生活に生かすことができました。



<あいさつポスター>

低学年が
取り組みました。

や、たこと

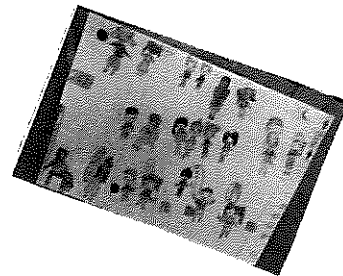
相手の目を見て、あいさつをし、かりとできるようにするためにポスターを自分達でつくり掲示しました。まず、どんな言葉をポスターに入れるか相談し、決めた言葉や絵を書きました。あいさつに関係がある言葉やあいさつの場面の絵をポスターに入れました。

良いと思、た所

ふだんあまりあいさつをしていない人でも絵を見て、「あ、あいさつしなきゃ!!」と自分自身で気づくことができました。また、いつもできていない人でも、と大きな声で言おうと、「レベルアップ」させることができました。

感想

ポスターをかざることによってふだんできていない人も絵を見て気づけるということがよかったです。またポスターを友達と協力することでクラスの皆の仲が深まりました。



<リフレージング>

高学年が
取り組み
ました。

や、た事

自分の短所をまず書きます。それを同じ班の友達が長所にかえてくれます。

例えば、「自分は声が大きいな」と思っていたことを書くと、友達が例を参考にして、「それは発言するときには声が大きくて聞こえやすいというところだ」と、良い言葉(自信がもてる言葉)にかえて、書いてくれるということです。

良いと思、た所

自分では自信がないと思、ていることでもちがう人がちがう見方をするととてもよいことだということに気づけます。こうすると自分に自信がもてるようになりました。

感想

⊖を⊕に考えることで、これからの自分に自信がもてることになって、自分も⊕な感情になり、人とも積極的に関わることができるようになると思、いました。